

## 令和元年度第2回千葉北警察署協議会

### 1 開催日

令和元年8月28日（水曜日）

### 2 開催場所

千葉北警察署

### 3 出席者

・協議会委員10人          ・警察署11人

### 4 議題

(1) 交通事故多発交差点の改善対策について

(2) 横断歩道に対する意見要望について

#### 【要望】

花見川区三角町の交差点は、交通事故が多く、交差点の改良はできないか。

#### 【回答】

この交差点は、二つの交差点が繋がっている、いわゆるダブル交差点となります。

この三角町交差点は、過去3年間の人身事故件数を調べると

平成28年は3件

平成29年は0件

平成30年は9件

今年に入って既に3件発生しております。

年間を通し、同一場所で5件以上の事故が発生する交差点は、交通上「事故多発箇所」となり、同所は平成30年に9件発生しておりますので、「事故多発箇所」と言えます。

この交差点を改良することができないかということで、今年7月に道路管理者、県警本部交通規制課、当署で現地診断を行いました。

その中で、事故が多く発生する原因は何か調査したところ、

大半が信号の見落としによるもの

事故の形態は、青信号で進行する車と、赤信号を見落として、交差点へ進入した車との出会い頭事故

が非常に多く発生していることが判明しました。

このことから一つ目の問題点として、

信号が見えにくいのではないか

ということが上げられました。

この対策として

信号機を視認性の良いLED化する。

特に事故発生件数の多い西側の交差点に信号機を増設する。

信号機の設置位置の見直し。これは、信号灯を見やすい場所、角度に変更する。という対策案があがりました。

二つ目の問題点として、大型車が通行可能な交差点の割に、東側交差点と西側交差点との間が、非常に狭く、すれ違い事故が予想されます。

この対策として、ガードレールの位置を変更し、道幅を広げ、通過しやすくするという案が上がりました。

信号機のLED化は予算を伴い、直ちに変更は難しいところですが、早ければ、本年度中にでも実施したいと考えております。

#### 【意見】

稲毛区山王小学校近くの交差点は小学生の通学路になっているが、道幅が狭く交通量が多い。横断歩道で通学児童が道路を横断しようとしても車が止まってくれず、なかなか横断できないので何とかならないのか。

#### 【回答】

この交差点は、抜け道として利用され、子供達がなかなか横断できない状況が続いています。

この状況を改善する一番の方法は信号機の設置ですが、信号機の設置には幾つかの条件が存在します。その中の一つとして、歩行者の滞留場所が必要です。信号機を設置した場合は、歩行者が安全に信号待ちができる場所があるのか。ということになります。

この場所は現在の状況では、それが確保できず、信号機の設置は困難となります。

交通量の多い交差点で信号機の無い場所、車の通りの多いところで車を止めるのは、非常に難しいことは、重々承知しております。ご指摘のとおり、この交差点で子供達を通過させることが難しいことは理解しました。そこで信号機設置以外改善策として何か無いのかと考えました。

まず、ドライバーにこの場所が交差点であることを注意喚起し、認識させることが一番と考えます。その対策として横断歩道表示の補修、警戒標識の補修、注意喚起をするための標識の増設をしたいと考えております。学童注意との表示がありますが、その表示を目立たせるために囲みをする等の表示を施すなど、通学路であることの認識を待たせる工夫を管理者である県警本部、土木事務所に対して警察署から依頼、要請していきたいと思っております。

#### 【要望】

四街道の人たちも、この道を抜け道として使っている。中には、ものすごいスピードで走って来るものも居る。旗を差し出して止めようとしても交差点では止められない。

また、子供達を横断させた後、子供達が左側通行になる。道幅が狭いにもかかわらず車が速度を落とさないため、大人達でガードして歩かなくてはならない。

この通りをスクールゾーンにはできないのか。

#### 【回答】

この通りをスクールゾーンに指定すると仮定して、直線が長く、始まりは何処になるのか、始点と終点の指定が困難となります。

例えば、ジェyson前の交差点を始点として想定すると、「この先行けません。」とした場合、何処へ迂回させるのかということが問題となります。細路への迂回を指示するという事はできないからです。

また、付近の住民や学校側関係者等、今まで通行していた人たちの中には、スクールゾーンになることに反対する意見もあります。

その様なことを踏まえて、この通りをスクールゾーンに指定することは非常に難しいと言えます。

学校の正面、正門前等にかなり区間を限定すれば、スクールゾーンの設置は若干しやすくなるのではないかと思います。現在、抜け道状態でかなり交通量があるこの場所を規制するには少し検討が必要となります。

千葉北警察署としては、標識、表示の補修、増設をして、ドライバーにこの場所が十字路交差点であり、学童が使用していますということをドライバーにアピールできる対策を道路管理者である県警本部、土木事務所に依頼、要請して少しでも改善できるよう進めていきたいと思っております。